



2018年10月16日

各位

会社名：株式会社UKCホールディングス
(コード：3156 東証第一部)
代表者名：代表取締役社長 栗田 伸樹
問合せ先：常務執行役員
IR部部长 大澤 剛
(TEL：03-3491-6575)

新製品開発に関するお知らせ

当社は、このたび AI（人工知能）画像認識機能を搭載することが可能なカメラモニタリングシステム（以下、「本システム」という）を開発いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新製品開発の趣旨

当社を取り巻く環境は、「市場の成熟化と競争激化」、「AI/IoT(モノのインターネット化)時代の幕開け」、「取引先様のニーズの多様化・高度化」といったキーワードに代表されるように、目まぐるしく変化しています。

当社は、これらの環境変化をチャンスと捉え、「利益を生み出す技術提案力の強化」による技術商社への飛躍を果たすべく、技術ベースのシステムソリューションや AI/IoT 関連事業の基盤を固めていき、2021 年度以降の高収益体質の確立と投資の本格的な開花を目指しております。

本システムは、その一環として、当社の強みである画像技術と業務資本提携先である株式会社デジタルメディアプロフェッショナル（本社：東京都中野区、代表取締役社長 CEO：山本 達夫氏 以下、「DMP」という）の AI 技術を組み合わせて、成長が予測される自動車や IoT 関連市場向けに開発したものです。

2. 本システムの概要

(1) 本システムの内容

当社の主力製品であるソニー製のイメージセンサと AI 技術において業界最先端を行く DMP の AI コア技術を組み合わせることが可能な車載向けカメラモニタリングシステムです。

(2) 本システムの特徴

高性能なソニー製イメージセンサと車載向け高精細液晶ディスプレイによる映像の美しさと視認性の良さに加え、FPGA（Field-Programmable Gate Array：製造後に購入者や設計者が構成を設定できる集積回路。現場でプログラム可能なゲートアレイ）によるフレキシブルな SoC（System on Chip：ある装置やシステムの動作に必要な機能のすべてを実装した半導体チップ）コントロール、さらには高精細画像を AI 解析することで実現される物体認識性能の高さが特徴で、お客様は本システムを開発プラットフォームとして活用することができます。

3. 今後の見通し

(1) 販売開始予定時期

2019年2月を予定しております。

(2) 売上目標

自動車向けを始め、FAロボットやスマート工場といった産業IoT分野への応用も合わせ、2021年度に30億円、2022年度に50億円を目標としております。

(3) 業績への影響

本件は、当社の当期（2019年3月期）連結業績予想に織り込み済みであります。

4. 本システムの詳細に関するお問合せ先

グローバル・デバイス事業本部 販売戦略部門 PM一部

TEL：03-5496-1128

e-mail：semicon@ukcgroup.com

以上